

## 秋山隆夫さん、栃尾賢作さんが「農林業センサス大臣表彰」を受賞

秋山隆夫さん（十二所）、栃尾賢作さん（大屋町夏梅）は昭和55年から平成22年までの間に行われた農林業センサスにおいて調査員として5度従事されました。

秋山さん、栃尾さんは、同統計調査の調査員の他にも国勢調査の調査員にも従事されており、統計調査業務に精通されていることから、他の統計従事者の模範として活動されるとともに、地域では農業を通して地域社会にも貢献されています。

栃尾さんらは「地域の皆さんの協力があったので今日まで続けられました。これからも協力をいただきながら頑張っていきたいです。」と話されました。



栃尾賢作さん（写真：左）と秋山隆夫さん

## 男子第65回・女子第26回 兵庫県郡市対抗駅伝競走大会

### 養父市チーム・昨年を上回る好成績

2月6日、男子第65回・女子第26回兵庫県郡市対抗駅伝競走大会が加古川市河川敷公園防災センター周辺で開催されました。

同大会は、兵庫県陸上競技協会と当大会実行委員会の主催で行われ、県内約45の郡市区の代表チームが、男子7区間、42・195km、女子5区間、21・0975kmの距離で競つ駅伝大会です。

養父市チームは、男子チームが昨年の45位から34位、女子チームが41位から32位へと昨年のを大幅に上回る成績を残しました。



駅伝大会で活躍した養父市チーム

## 拝啓 市民の皆様

2月22日から養父市議会定例会（三月議会）がスタートいたしました。今期の議会では、平成23年度予算に加えて、今後10年間のまちづくりの基本方向を定める新しい総合計画を提案しています。

第二次総合計画は、今後10年間のまちづくりの基本方向を定める大変重要な計画です。昨年の国勢調査において、本市の人口は26,509人と5年前より約1,800人減少するなど、厳しい状況が続いています。また、国においては、地方分権・地域主権の推進の中で、地方には一層の自立が求められるようになっていきます。このためこの計画案では、将来像に「響きあう心 世界へ拓く 結の郷 やぶ」を置き、この実現を図るために市民と行政が共に考え、共に働きながら、活力を生み出しつつ、市民の誰もがストレスなく暮らせるまちづくりを目指すこととしています。

一方、予算については、平成23年度が第二次総合計画の初年度となるので、これを念頭に置いたものとし、医師不足に対応した地域医療の維持・確保、養父市にある固有の地域資源を活かした観光交流の活性化とその仕組みづくり、自然災害への備えと対応、市の「宝」である子どもを生み育てやすい環境づくり、若い世代と高齢者世代が生きがいと意欲をもって働くことができるまちづくりなどを重点に編成しました。いずれにしてもまちづくりは行政だけで進むものではありません。引き続きご支援とご協力をお願いいたします。

市長 広瀬 栄